

野田・九条通信

2005年・12月号
NO. 5
「野田・九条の会」事務局
TEL 7122-0502

十一月例会の報告

「風雲急を告げる」改憲の動き 成功させよう「高遠講演会」・「ガラスのうさぎ」上映

十一月例会は、場所を中央公民館講座室に移して、予定通り十二日に行なわれました。

最初、事務局から「ガラスのうさぎ」上映のための対策会議が行なわれたこと、賛同者が全体として四〇九人まで増えたことが報告されました。

参加者からは、「のだ市戦争体験者の会」のある小学校での「語り部」実体験と、子供たちの反応が報告されました。

また「健康友の会・九条の会」が、会報「麦わらぼうし」2号を発行したことなどの報告がありました。

総選挙のあと 改憲への動き加速

先の衆議院選挙の結果を受けて、自民党が新憲法草案を発表し、来年の通常国会には「国民投票法案」が提出される状況になっていくことが話し合われました。憲法改憲への動きが「風雲急を告

げる」状況になっていくこと、「九条の会」の動きも一層強めていく必要があることなどが討論され確認しました。

二つの取組みと 署名運動の推進を

①、会場が決まっていたなかった「高遠菜穂子氏講演会」が、中央公民館の講堂に決まりました。

主催者の挨拶と訴えを含めて二時間程度の集会になる予定です。現地の生々しい話が聞けます。

②、アニメ「ガラスのうさぎ」上映実行委員会開催の準備状況が報告され、アニメを通して親子が一緒に平和や戦争の問題を考える日にするということが確認されました。

③、改憲への動きが急な時だけに、様々な取り組みを通じ「憲法を守れ」の署名を広く集め、国会に提出することを決めました。ご協力ください。



九条への想い 日佐戸 輝(元 県身障者福祉協会理事長)

「戦争体験者の会」が発足

「戦争は終わった」と元総理、戦争は風化したとの声も高い。そうだろうか。

戦争被害当事者の私の戦後は、命果てるとも終わらない。何百万人とも言われる死者たちの口から洩れる怨嗟の聲は、未だ永劫に終わらないだろう。

一方、加害者達も未だに悪夢にうなされ、はね起きると言う。然し、誰

もそれを語らない。

死者だけが戦争犠牲者ではない。あの時代を生きた者達は、それぞれが何らかの陰をもつ。

善悪は別にして自らの体験を話してみよう、そして伝えよう。

戦争の加害・被害の状況は新聞・テレビでもわかる。然しそこで実際にやった・やられた人達が肉体的にも精神的にも受けたあの思いは迫力が違

う。実体験者だけが持つ力がある。

死者を慰霊し、「不戦の誓い」をたて、そのための行動を起こし実現させる。このことが生き残った我々の責務である。死者達よ許してくれ。そして安らかに眠られんことを祈る。

我々は「戦争体験者の会」を発足させ、活動を始める。

お知らせ

◎「ガラスのうさぎ」
試写会のご案内
日時 12月10日(土)
昼の部 14時
夜の部 19時
場所 野田市青少年センターにて

「ガラスのうさぎ」上映に協力していただける方、大歓迎です。

◎「命に国境はない」
講演会
講師 高遠 菜穂子さん
日時 06年1月21日
13時30分開演

場所 野田市中央公民館
資料代 500円です

◎アニメ「ガラスのうさぎ」上映
日時 06年2月25日
第一回目：10時30分
第二回目：14時
第三回目：16時30分
第四回目：19時

場所 樺のホール
前売券 大人二〇〇円
子供 八〇〇円

◎「野田・九条の会」
12月例会開催は
日時 12月10日16時
場所 野田市青少年センターにて